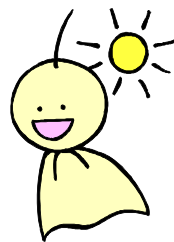




5/19(日)「第28回草加市保育園父母連総会」報告



5月19日(日) 10:00~12:00 勤労福祉会館ホールにて、「第28回草加市保育園父母会連合会総会」を開催いたしました。お忙しい中、多くの来賓の方々や、18公立保育園父母会の新旧役員の方など、約100名の方々にご出席いただき、誠にありがとうございました。また、保育士の先生方に保育を行っていただきました。いつも保育を支えていただいていることに、心より感謝申し上げます。

待機児童のニュースや保育に関するニュースがまことしやかにマスメディアで飛び交う中、多くのご来賓の方々が保育情勢に関心を持たれ総会に参加してくださいました。

現在の草加市が抱えている子育てを取り巻く課題等をどのように打開していくか?といったお話や、安心・安全に草加市で子育てしていける条件整備をこれまで以上にすすめていくこと等、示唆に富んだお話しをいただきました。父母連の新会長に対して多くの励ましの言葉を頂き、また各保育園父母会の取組みへの暖かな応援メッセージもたくさん頂きました。お忙しい中ご参加いただきましたご来賓の皆様には感謝申し上げます。

私たちはこれらのお話しを伺い「待機児解消を優先としながら公立と私立の認可保育園の保育の質を相互に高め合えるシステム作り」や「多様な保育ニーズに応えながら、これまでの草加の保育実践を維持・向上させていく」ことへの重要性を改めて見つめ直す機会となりました。今後も父母連は、各園父母会の皆様とともに知恵と力を合わせながら、より良い子育て環境作りのために積極的に活動していきたいと考えています。

なお、議事では、2012年度活動総括・報告・決算、2013年度活動方針・予算・新事務局員が無事に承認されましたので、ここにご報告いたします。

***総会資料は、2012年度の父母連活動や2013年度の方針に関する大切なものです。皆さん是非目を通してください。**

<ご来賓>

- 衆議院議員：黄川田仁志 様
 - 元厚生労働大臣：細川律夫 様
 - 埼玉県議会議員：山川百合子 様
 - 草加市議会議員：斉藤雄二 様
 - 草加市議会議員：佐藤憲和 様
 - 草加市議会議員：石村次郎 様
 - 草加市議会議員：佐々木洋一
 - 草加市議会議員：西沢可祝
 - 草加市議会議員：新井貞夫
 - 参議院比例支部長：瀬戸健一郎 様
 - NPO法人草加・元気っ子クラブ代表理事：
小池奈津夫 様
 - 草加市学童保育の会副会長：橋本方弥 様
 - 草加市子ども未来部保育課長：浅古 裕康様
 - 草加市職員労働組合保育部会：楠 恭子様
- ※なお、草加市長 田中和明様、草加市議会議員 平野厚子様より祝電をいただきました。

ありがとうございました！！

★2013年度父母連事務局新役員★

会 長	芹澤一洋(せざき保)
副会長	高山幸一郎(しんぜん保OB) (兼任) 中島幸代(しのは保)
事務局長	浜藪浩美(せざき保OB)
事務局員	熊谷美喜子(せざき保)
会 計	高山幸一郎(しんぜん保OB) (兼任)
会計監査	段 和志(あずま保OB)

前会長の高山が任期切れということで、今年度より父母連会長を務めることになりました。芹澤一洋(せりざわもとひろ)です。

私自身、小山小学校、花栗中学校を卒業した草加育ちの人間です。他自治体に住んでいたこともありましたが、結婚出産を機に草加に戻ってまいりました。今は、せざき保育園にて長男を3歳児クラスに預けています。

やはり何といても待機児童対策が喫緊の課題です。草加市内の待機児童数は、昨年4月時点で130人だったものが、今年4月には328人、5月にはなんと372人と今までにない異常と断言しているほどのハイペースにて推移しています。(いずれも草加市基準の待機児算出方法。国基準とは異なる。) 2011~2012年に6園+1分園の民間認可保育園を開園させたにも関わらず、待機児童数が2.5倍に増えてしまったのは、私たち父母連としても市としても想定外のことです、頭を抱えています。

待機児童とならざるを得なかった保護者の方々と連携し、市への働きかけを行っていきたくと思います。

また、株式会社参入や育休3年など、多くのことが激動的に動く数年間になると思います。皆様には署名活動等でご協力を仰ぐことになると思います。

よりよい草加保育のため邁進して参りますので、どうぞよろしく願います。

平成 25 年度保育事業説明会(5 月 17 日 於中央公民館)報告

今年も草加市主催の「保育事業説明会」が 5 月 17 日(金)に中央公民館にて開催されました。ご参加いただいた各園の代表者・会長のみなさんありがとうございました。当ニュースで全てをお伝えすることはできませんが主な内容を以下にご報告します。なお当日の保育は園長先生方が担当してくださいました。ありがとうございました。

**<参加者> 草加市：保育課長、保育課長補佐
父母連：父母連事務局・各父母会役員を中心に約 40 名。**

1. 平成 25 年度の保育園状況について

4 月入園希望の申込者数が 899 人、待機児童数が総数で 328 人と前年度比で倍以上に増加。保育課によると、市内の未就学児童数が毎年 100~200 人程度減っている中で保育園入園希望者数は確実に増加しているとのこと。また 5 月の入園希望の申込者数が 4 月からさらに 110 件増えており、今後も増加する見通しとのこと。対策として、市では追加で 50 人程度の受入れ枠を増やして対応し、さらに臨時保育職員の募集をかけて保育士を集めていくとのことでした。

2. 幼稚園預かり保育推進事業について

幼稚園での預かり事業については、夏休み等の長期休業日に預かり保育を実施する私立幼稚園に対して助成を行い、預かり保育の充実を図ることで保育園待機児童の解消を図るとのことです。具体的には今年度は埼玉県と連携し、預かり期間や預かり時間などの事業の拡充を図りつつ、事業の周知を行っていくことで長期的に待機児童の解消を目指すそうです。補足説明では、夏休みは全期間のほぼ 3 分の 2 程度を預かり期間としてもらえるようにしたいそうです。

3. 災害時子ども安心メール、保育園耐震診断について

災害等の緊急事態における、保育園等の施設から保護者へ情報を配信する事業で、すでに 2 月から事業が開始されています。毎年 4 月に再登録をするそうで、今年度も 4 月に再登録してもらっています。保育園利用世帯の登録者数は 1571 人だそうです。

また、保育園の耐震診断が今後数年かけてスタートします。保育を実施しながらの診断になるのでご不便をお掛けするかと思うがご了承いただきたい、とのことでした。

4. 質疑応答について

市側の説明後に質疑応答がありました。以下はその要旨と回答です。

①車通勤者の保育園利用が駐車スペースがなくて困難だ？

回答→ 市内には古くから建てられた園舎が多く、駐車スペースがない所がほとんど。ご不便をおかけしているが、具体的な対策は現在ないのが実情。

②待機児童が爆発的に増えている。年度内に予算措置を組んで対策して欲しい。

回答→ まず保育士不足については、3 月に急な退職等があり正規職員・臨時職員ともに欠員が生じた。その後 5 人は確保できたが、まだ十数人埋めきれしていない。保育課としても待機児童対策は急務と考えているので、対策を要望していくが、市長・議会の承認が必要なので即答できない。

③1 月に保育園入園申し込み、3 月ギリギリに結果発表は遅すぎる。他市では 11 月に申し込みのところもある。

回答→ 他の方からも同様の要望は上がっている。保育課でもなんとかできないものかと検討はしている。そのほうが実は職員もありがたかったりする。ただ、11 月過ぎに転入される方や 4 月 1 日時点で生後 56 日となり新生児保育希望の方への配慮が必要。これらの申請月を早めることにより発生しうるであろう弊害をまずは排除していき、事務改善をしていきたいと考えている。

④国が保育事業への企業参入を拒否しないようにとの通知を各自治体へ出したが、草加市の対応は？

回答→ 法的には事業主体を選別する権限は自治体にはないが、業者の選定段階で総合的に適性を判断している。株式会社が保育事業を運営して、きちんと自治体が運営状況をチェックできるかどうかは課題。具体的なことについてはまだ指示がない状態。

※私たち保護者の質問に市側は丁寧に回答してくださいました。また、後日談になるのですが、現在開会中の 6 月定例市議会において、新規認可保育園の平成 26 年 4 月オープンを目指した予算案が議題として上がっているとのこと。市が私たち市民の要望に早速応えてくださった形で、大いに期待しています。今後も市の待機児童対策に関心をもって見守っていきたいですね。

(父母連 高山)